

各 位

会 社 名 株 式 会 社 N E W A R T
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 白 石 幸 生
(J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 3 8)
問 合 せ 先 取 締 役 松 橋 英 一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

平成30年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 5 月 10 日公表)	百万円 7,100	百万円 600	百万円 600	百万円 350	円 銭 1.05
実績値 (B)	7,067	535	511	242	
増減額 (B-A)	△32	△64	△88	△107	—
増減率 (%)	△0.5%	△10.7%	△14.8%	△30.6%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	7,100	968	962	762	2.29

2. 業績予想と実績値との差異の理由

売上につきましては、予想を若干下回ったものの、概ね予想通りの結果となりました。しかしながら、利益面につきましては、ジュエリー事業において海外初の大型店舗を新規オープンし、積極的なプロモーション活動を推進したため費用が当初想定より増加したこと、またエステ事業において構造改革を推進していることから売上が伸び悩んだことなどにより、営業利益、経常利益は、当初より下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前述に加えて、繰延税金資産の取り崩しにより実効税率が上昇し、その結果、当初予想を下回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、当初予想からの変更はございません。

以 上

(業績予想に関する留意事項)

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化等により実際の業績が異なる可能性があります。